

高齢化が進み、高齢者単身世帯・夫婦世帯が安心して居住できる賃貸住宅として登場したのが「高齢者優良賃貸住宅」や「サービス付高齢者向け住宅」です。

区内の高齢者向け賃貸住宅は東京都と江戸川区が認定し、民間事業者が建設したものです。「バリアフリー化」され、「24時間緊急通



しんむら いくこ
新村 いく子
江戸川区議会議員

高齢者向け賃貸住宅を視察して

報装置の設置」や日中常勤するスタッフによる安否確認、生活相談などのサービスが提供されています。

なかにはデイサービスや医療機関が併設されているところもありました。区内に3年以上在住し、自立生活が営める等、条件を満たせば入居でき、区から上限25,600円の家賃補助が出ます。

「介護施設」から「在宅」への期待が持たれ、高齢期の住まいの選択肢が増えることは歓迎すべきことだと考えますが、課題がないとは言えません。視察した住宅は空き室が目立っており、「区内在住3年」という条件等の厳しさもあると指

摘する事業者もいました。しかし、それ以上に、対象者を介護保険での「要介護3」程度までの方、としている点からも推測されるように、介護度が高くなれば「終の住まい」になり得るかという不安があります。

当事者の抱える不安にきちんと耳を傾け、課題を検証すること。また、福祉予算も見直されている状況下にあつて、こうした高齢者住宅を造り続けていくのかということも課題です。区として、福祉や医療と連携した住まいのあり方について検討し、今後の住宅政策を持つべきだと考えます。

●インフォメーション●

「逃げ遅れる人々～東日本大震災と障害者」上映会&トークイベント

※字幕・手話通訳
要約筆記付き

災害時における障害者の課題を地域全体で共有し、誰もが逃げ遅れないための方策をとともに考えましょう。生活クラブ生協をはじめ、福祉・環境・子どもなど、江戸川区で活動する14団体が実行委員会をつくり取り組みます。被災地で障害者支援をする方々のトークも。

日時：9月19日(木)
午後6時～9時(午後5時40分開場)

会場：タワーホール船堀5階小ホール
料金：1000円(予約制)
主催：江戸川上映実行委員会
後援：江戸川区 社会福祉法人江戸川区社会福祉協議会



小松川自然地～荒川クリーンエイド&アダプト活動

日時：11月17日(日) 午前10時～12時30分
会場：荒川右岸・船堀橋上流
(集合場所・小松川千本桜公園バーベキュー場付近)
内容：清掃・ゴミ調査・投網による生き物観察・外来種除草
※活動の後は、豚汁のお楽しみも
参加費：無料
主催：江戸川・生活者ネットワーク(里川小松川自然地協議会)

●お申し込み・お問い合わせ：江戸川ネット事務局
☎03-5607-5975 E-mail: soreyuke@net.email.ne.jp

生活者ネットワークは

東京で唯一の
地域政党です



最も身近な自治体議会に議員を送り、地域から生活の課題を解決していきます。現在33の自治体にそれぞれ生活者ネットワークがあり、区議16人、市議33人、都議3人を擁しています。食品安全、医療、水問題など、東京全体の課題には「東京・生活者ネットワーク」として取り組んでいます。

「市民の議席」獲得のために

生活者ネットワークの選挙取り組み



杉並では8年ぶり、小松久子が都議会に議席獲得。左は、参院選で惜敗した大河原まさこさん。

東京・生活者ネットワークは、1977年設立した「グループ生活者」の時代から、「政治は生活の道具」を政治の基本に置き、自治体議会に議員を送り続けてきました。大都市東京もひとつの自治体であり、「東京は生活のまち」であると発信し続け、都議会議員選挙にも挑戦してきました。

今年6月に行われた選挙では、現職3人に加え新人3人の候補者を擁立。選挙戦のスローガン「2013生活者宣言」では、原発ゼロ、女性と若者の支援、福祉と医療の連携、子ども優先、都議会改革の5つを重点政策としました。選挙後、新たな議会でも、政策実現のために連携できる相手として民主党や緑の党との協議もすすめ、それぞれの候補者を推薦しましたが、江戸川区においては、重点政策に照らし、推薦に至る候補者はいませんでした。

毎回、都議選は国政選挙並みの状況になるうえ、7月の参議院議員選挙の前哨戦として位置づけられ、さらに大変厳しいものとなりました。

結果、生活者ネットワークは、世田谷、国分寺・国立、杉並からの3人の当選にとどまり、地域政党としての打ち出しや政策の争点化など、多くの課題を残しました。

つづく参院選では、国会議員を持たない地域政党として、推薦候補を支援する立場で臨みました。生活者ネットワークは、国政にあつても、市民主権・地域主権の「自治分権社会」実現のため、市民の議席確保を目指しています。6年前の参院選では、生活者ネットワーク元都議の大河原まさこさんを民主党の候補者として送り出しました。当選後、大河原さんは多くの市民団体の受け皿となり、国会において重要な役割を果たしてきました。今回、私たちは、公示直前に、公認取り消しという理不尽な局面にあつてなお「生活の現場にこそ政治課題がある」と無所属での立候補を決定した大河原さんを推薦。他6名の女性候補を推薦・支持し、選挙に取り組みましたが、大河原さんは再選ならず、2名の当選に終わりました。

活動あれこれ



【夏恒例の平和イベント】江戸川区原爆犠牲者追悼式では毎年千羽鶴を献納(7月)。反核キッズドルデモ8月。いずれも、運営をサポート。



【子宮頸がんワクチンの中断中止を求める要請】生活者ネットワーク議員ら総勢22名が厚生労働大臣に要請。(5月)



【不要不急のスーパー堤防に反対】同事業と一体の北小岩土地区画整理事業は、取消訴訟に加え執行停止の申し立てもなされた。(7月)白枠だけの整備に47億円。

江戸川・生活者ネットワークのルール

◆議員は交代制

議員を職業とせず、参加の層を広げるため、2期8年で交代します。議員経験者はそのキャリアを地域の市民活動に活かします。東京全体で交代した議員が175人、江戸川では4人。現職を合わせると224人の女性議員を誕生させています。

◆議員報酬は市民の活動資金に

生活者ネットワークの議席は市民のためのもの。議員は、報酬から経費を引いた額を生活者ネットに寄付し、市民の活動資金にしています。お金の流れはすべて公開しています。

◆選挙はカンパとボランティアで

選挙では、候補者が費用負担することなく、カンパとボランティアで行なっています。

●活動にご賛同いただける方はカンパをお願いします。 ゆうちょ銀行 口座記号 00170-6 番号 763600 口座名 江戸川・生活者ネットワーク ●